DENON

プロフェッショナル デジタル DJ ミキサー

DN-X600

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  詳しくは、☞19 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く
●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。移動の際は、本機に衝撃を与えないでください。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

ご使用になる前に 1

付属品について 1
本書について 1
本機の特長 2
使用上のご注意 2
設置について 2
携帯電話使用時のご注意 2
お手入れについて 2
結露（つゆつき）について 2

各部の名称とはたらき 3

トップパネル 3
フロントパネル 4
リアパネル 5

接続 6

準備 6
接続に使用するケーブル 6
入力端子の接続 6
外部機器からの入力 6
マイクの接続 7
出力端子の接続 7
アンプへの出力 7
ブース出力端子の接続 7
入出力端子の接続 8
パソコンの接続 8
外部エフェクトプロセッサーの接続 8
電源の接続 8

基本操作 9

基本操作 9
MIC（マイクの入力） 9
ヘッドホンモニター 9

エフェクター機能 10

エフェクターの種類とエフェクト動作の内容 10
センド・リターン機能 10
必要な設定と接続について 10
センド・リターン機能の切り替えかた 10
ビートブレーカー機能 10
動作のしくみ 10
操作のしかた 10
エフェクターの操作のしかた 11
ビートの設定 11

フェーダースタート機能 12

チャンネルフェーダースタート 12
クロスフェーダースタート 12
フェーダーカーブの調節 13
クロスフェーダートルクの調整方法 13

USB 設定 13

パソコンの OS の設定 13
USB デバイスモードについて 14
USB オーディオの入出力 14
サンプリング周波数の切り替えかた 14
USB オーディオ出力について 14
USB オーディオ入力モードの設定 14
MIDI コマンドの出力について 15
MIDI 出力チャンネルの設定 15
MIDI クロックの同期について 15
DVS 機能を使った再生のしかた 15
接続のしかた 15
DVS 再生のしかた 15

故障かな？と思ったら 17

主な仕様 18

保証と修理について 19

索引 19

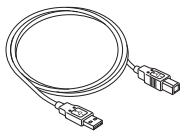
系統図 20

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書） 1
② CD-ROM 1
③ USBケーブル 1
④ 保証書（梱包箱に貼り付けています。） 1

③



ご注意

伝導ノイズや妨害ノイズによって本機が誤動作する場合がありますので、パソコンと本機を接続するときは、付属のUSBケーブルをお使いください。

本書について

❑操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

❑マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

❑イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

本機の特長

1. 豊富な入出力端子

本機の入出力は以下のとおりです。

入力
- CD　2 系統
- PHONO　2 系統
- マイク　1 系統
- AUX1　1 系統
- AUX2　1 系統／エフェクト 1 系統(兼用)

出力
- マスター　2 系統
- ブース　1 系統／エフェクト 1 系統(兼用)

入出力
- USB オーディオ　4 系統

更に、USB MIDI および端子出力の MIDI インターフェース機能を搭載する、96kHz/32bit DAC 対応の DJ フルデジタルミキサーです。

2. 高音質設計
- 96kHz/32bit フローディング DSP と、32bitDA コンバータ(マスター出力)を搭載。高精度で忠実な音質を提供します。
- 電源部には、音質用電解コンデンサを搭載。更に、音声信号処理部は、音質用フィルムコンデンサ、高精度金属皮膜抵抗を採用。圧倒的な高音質を実現します。
- EIN：126dB のローノイズディスクリートトランジスタ構成マイクアンプ、S/N：89dB の PHONO アンプを搭載。

3. 多彩なエフェクト機能
- 楽曲の BPM 値に同期して、設定した拍数に連動するエフェクタを搭載。ディレイ、エコー、リバーブ、ループ、フランジャー等 8 種類の多彩なエフェクタを内蔵しています。
- 複数のインプットチャンネルの信号を同時にエフェクタに送出できる、エフェクトセンド構成を採用。

4. USB オーディオ& MIDI インターフェイス
- 8ch(ステレオ 4 系統)96kHz USB オーディオ入出力機能を搭載。
- DVS(Digital Vinyl System)に対応しています。
- ほとんどのパネル面の操作を MIDI 出力できます。
- パソコンからの MIDI クロック信号を検出して、自動的に BPM 値として使用することができます。
- 本機から出力した音声にパソコンのエフェクターソフトでエフェクト処理をかけ、再び本機に入力するエフェクトセンド・リターン機能を搭載。
- 低レイテンシを実現する ASIO ドライバを同梱します。

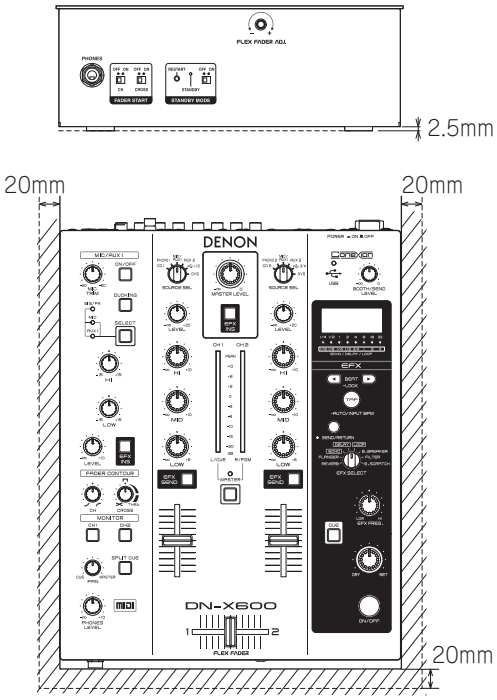
5. プロの現場に応える操作性と高信頼性設計
- 各インプットチャンネルにアイソレータ EQ を搭載。
- クロスフェーダーの操作力を調整できるトルク調整機構を内蔵した FLEX FADER を搭載。自分好みの操作力に調整できます。
- 6 系統から自由に入力ソースを選択できる、マトリクスソースセレクタを搭載。

6. その他
- マイク入力時に背景音を減衰するダッキング機能を搭載。
- チャンネルフェーダー、クロスフェーダースタート機能を搭載。
- 自動スタンバイ機能搭載(エコモード)

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

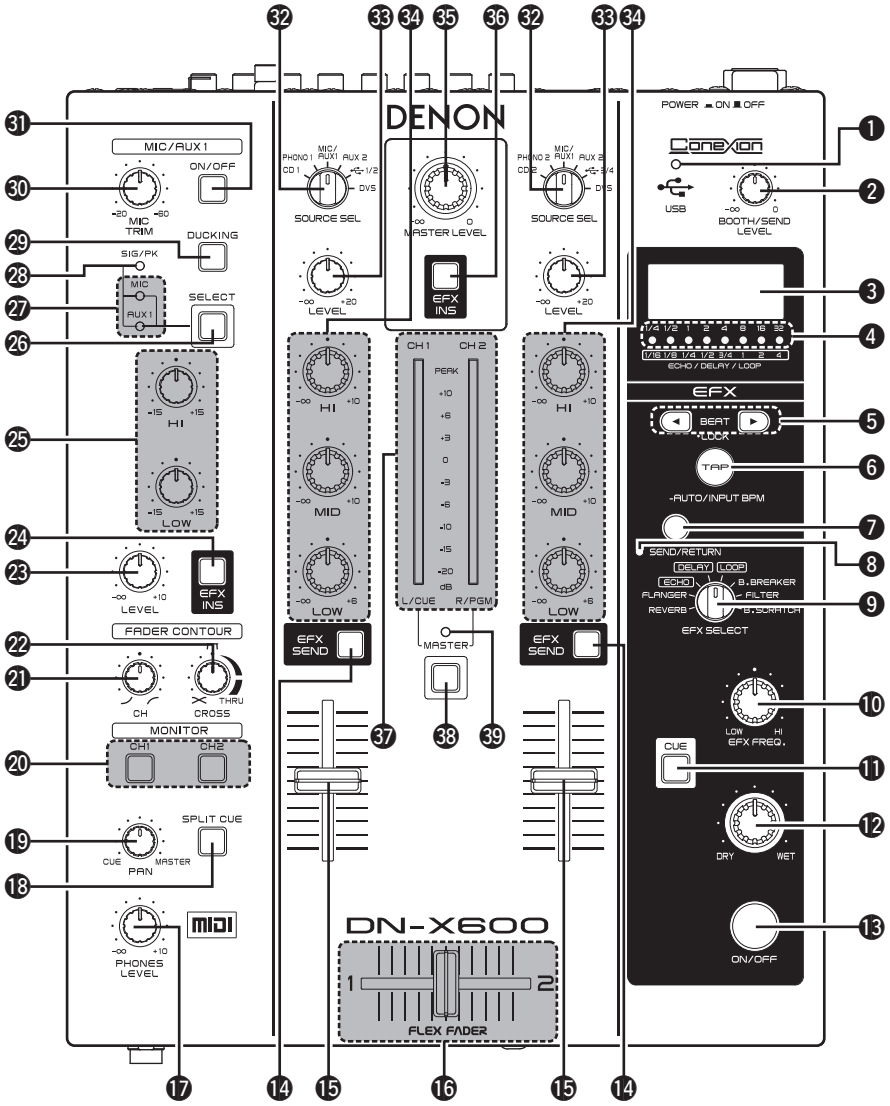
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名称とはたらき

トップパネル

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。



❶ USBイネーブル表示(USB)
- パソコンと接続しているときは薄い青色に点灯します。
- MIDI コマンドを出力しているときは濃い青色に点灯します。

❷ ブース・センド、エフェクト・センドレベル調節つまみ
(BOOTH/SEND LEVEL) …… (5)
BOOTH/EFX SEND 端子の出力レベルを調節します。

❸ ディスプレイ
BPM 値や機器の設定を表示します。

❹ ビート表示 …… (11)

❺ ビート切り替えボタン
(BEAT) …… (11、14、15)

❻ タップボタン(TAP/LOCK/AUTO/INPUT BPM) …… (11、14、15)
TAP：
- ボタンをくり返し押すと、押した間隔の BPM 値を計測します。

LOCK：
- オート BPM モード中にこのボタンを 1 回押すと、自動計測した BPM 値をロックします。

AUTO BPM：
- 1 秒間押すと、オート BPM モードになり、計測したBPM 値を表示します。

INPUT BPM：
- 2 秒以上押し続けると、BPM インプットモードになり、❺ ビート切り替えボタンで、直接 BPM 値を入力できます。再度、このボタンを押すと本モードを解除します。

❼ センド・リターンモード切り替えボタン
(SEND/RETURN) …… (10)

❽ センド・リターンモード表示
(SEND/RETURN) …… (10)

❾ エフェクト選択つまみ
(EFX SELECT) …… (11)

❿ エフェクトフィルター調節つまみ
(EFX FREQ) …… (11)

⓫ エフェクトCUEボタン(CUE) …… (11)

⓬ ドライ/ウェット調節つまみ
(DRY/WET) …… (11)

⓭ エフェクトON/OFF ボタン
(ON/OFF) …… (11)

⓮ チャンネルエフェクトセンドボタン
(EFX SEND) …… (11)
- AUTO BPM の対象になっているときは点滅します。

⓯ チャンネルフェーダー
(CH FADER) …… (9、12)

⓰ クロスフェーダー
(CROSS FADER) …… (9、12)

⓱ ヘッドホンレベル調節つまみ
(PHONES LEVEL) …… (9)
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⓲ スプリットCUEボタン
(SPLIT CUE) …… (9)

⓳ ヘッドホンパン調節つまみ(PAN) …… (9)

⓴ チャンネルモニター切り替えボタン
(MONITOR CH1/CH2) …… (9)

㉑ チャンネルフェーダーコンター調節つまみ
(CH FADER CONTOUR) …… (13)

㉒ クロスフェーダーコンター調節つまみ
(CROSS FADER CONTOUR) …… (13)

㉓ マイク/AUX1送出レベル調節つまみ
(LEVEL) …… (9)
マイク信号または AUX1 入力信号のマスター出力への送出レベルを調節します。

㉔ **マイク/AUX1エフェクトインサーションボタン(EFX INS)** ……(9)
マイク入力信号および AUX1 入力信号に各種エフェクト効果をかけることができます。AUTO BPM の対象になっているときは点滅します。

㉕ **マイク/AUX1 EQ調節つまみ(HI/LOW)** ……(9)
マイク入力信号および AUX1 入力信号の周波数特性を調節します。

㉖ **マイク/AUX1入力切り替えボタン(SELECT)** ……(9)

㉗ **マイク/AUX1入力表示(MIC/AUX1)** ……(9)

㉘ **SIG/PK表示** ……(9)
マイク /AUX1 入力レベル用シグナル / ピークメータです。
消灯：
- 入力無し。(− 60dBFS 未満)

緑色：
- 入力有り。
(− 60dBFS 以上〜− 20dBFS 未満)

橙色：
- 入力適正レベル
(− 20dBFS 以上〜− 6dBFS 未満)

赤色：
- 入力レベルオーバー(− 6dBFS 以上)

㉙ **ダッキングON/OFFボタン(DUCKING)** ……(9)

㉚ **マイクトリム調節つまみ(MIC TRIM)** ……(9)
マイク入力信号および AUX1 入力信号の入力レベルを調整します。

㉛ **マイクON/OFFボタン(MIC)** ……(9)

㉜ **チャンネル入力ソース切り替えつまみ(SOURCE SEL)** ……(9、12、15)

㉝ **チャンネル入力レベル調節つまみ(LEVEL)** ……(9)

㉞ **チャンネルアイソレータEQ調節つまみ(HI、MID、LOW)** ……(9)

㉟ **マスター出力レベル調節つまみ(MASTER LEVEL)** ……(9)

㊱ **マスターエフェクトインサーションボタン(EFX INS)** ……(11、14)
ボタンを押すと、マスター出力信号に対して各種エフェクト効果が得られます。
AUTO BPMの対象になっているときは点滅します。

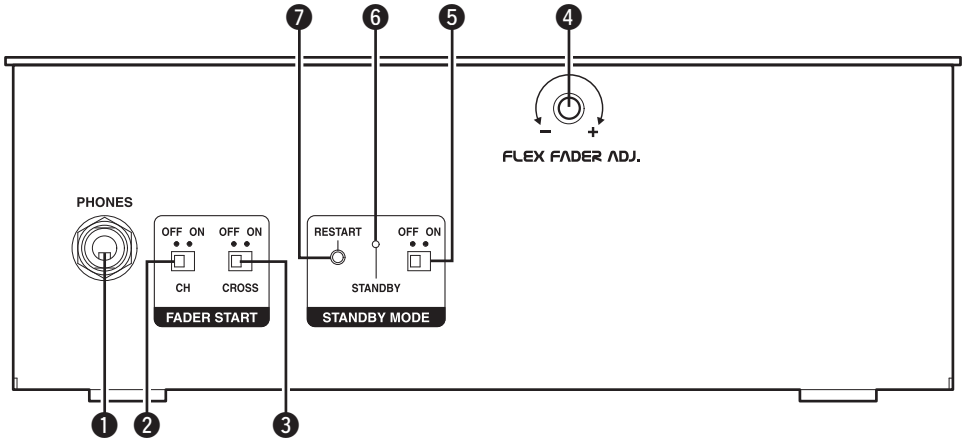
㊲ **チャンネルキューマスターレベルメーター(CH1、CH2、L/CUE、R/PGM)**
2 つの表示モードを切り替えて表示できます。
スプリット CUE OFF：
- マスター出力音声レベルを表示します。

スプリット CUE ON：
- 右チャンネルマスターCUE(モノラル)、左チャンネル CUE(モノラル)の音声レベルを表示します。

㊳ **チャンネルキューマスターレベルメーター表示切り替えボタン** ……(14)

㊴ **マスターレベルモード表示(MASTER)**
- マスター出力モードのときは赤く点灯します。
- チャンネル入力モードのときは消灯します。

フロントパネル



❶ **ヘッドフォン端子(PHONES)**

❷ **チャンネルフェーダースタートスイッチ(CH FADER START)** ……(12)

❸ **クロスフェーダースタートスイッチ(CROSS FADER START)** ……(12)

❹ **クロスフェーダートルク調整穴(FLEX FADAR ADJ.)** ……(13)

❺ **スタンバイモードスイッチ(STANDBY MODE)** ……(4)
- **ON：**
自動スタンバイ機能を有効にします。
- **OFF：**
自動スタンバイ機能は無効です。

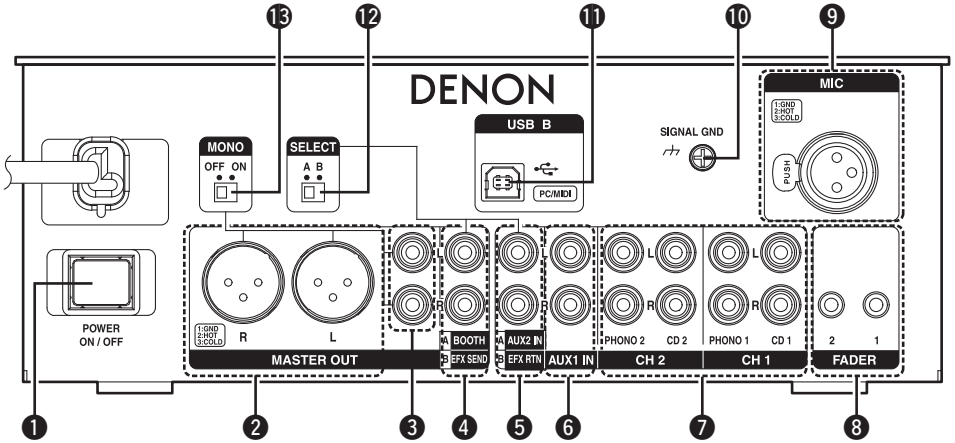
❻ **スタンバイ表示(STANDBY)** ……(4)
スタンバイモードのときは赤く点灯します。

❼ **リスタートボタン(RESTART)** ……(4)
自動スタンバイ機能によってスタンバイモードになっているときに押すと、スタンバイモードを解除し、電源がオンになります。

❑自動スタンバイ機能について

電源がオンのときに、本機の操作(※)を約 8 時間しなかったときや、現在の入力ソースの入力が約 8 時間ないときに、本機は自動的にスタンバイモードになります。
※：マイクトリム調節つまみの操作は除きます。

リアパネル



❶ **電源スイッチ(POWER)**……(9)

❷ **マスター出力(バランス型)端子(MASTER OUT)**……(7)

ピン配置：

1. グランド(GND)
2. ホット(HOT)
3. コールド(COLD)

適応端子：

CANNON XLR-3-31 または同等品

❸ **マスター出力(アンバランス型)端子(MASTER OUT)**……(7)

❹ **ブース/エフェクト・センド出力端子(BOOTH/EFX SEND)**……(7、8)

SEND(出力)：

- 外部エフェクトプロセッサーの入力端子と接続します。

BOOTH(出力)：

- アクティブスピーカーの入力端子と接続します。

❺ **AUX2/エフェクト・リターン入力端子(AUX2 IN/EFX RTN)**……(6、8)

RETURN(入力)：

- 外部エフェクトプロセッサーの出力端子と接続します。

AUX2(入力)：

- 外部機器の出力端子と接続します。

❻ **オーディオ入力端子(AUX1 IN)**……(6)

❼ **オーディオ入力端子(CH1、CH2)**……(6)

MM カートリッジ(ムービングマグネット式)のターンテーブル(RIAA)または CD プレーヤー等の機器と接続します。

❽ **フェーダー出力端子(FADER1、2)**……(6、12)

DN-S1200、DN-S3700 等のフェーダー入力端子と接続します。接続には 3.5mm ステレオミニプラグを使用します。

❾ **MIC入力端子(MIC)**

XLR コネクターのバランス型のマイクロホンと接続します。

ピン配置：

1. グランド(GND)
2. ホット(HOT)
3. コールド(COLD)

適応端子：

CANNON XLR-3-32 または同等品

❿ **信号アース端子(SIGNAL GND)**……(6)

⓫ **USB B端子(USB B)**……(8、15)

⓬ **入出力モード切り替えスイッチ(SELECT A、B)**……(7、8)

❹ と ❺ の端子の機能を切り替えます。

ご注意

入力モード(SELECT)の各設定(A または B)では出力と入力の音声レベルが異なります。接続する機器に合わせて正しいレベルを設定してください。

⓭ **モノラル出力切り替えスイッチ(MONO)**……(7)

"ON"にすると、L と R の端子からミックスモノラル音声を出力します。

接続

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に接続してください。
  不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

準備

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

❏RCA 入力端子用

RCA ピンプラグケーブル（別売り）

❏XLR 入出力端子用

バランスケーブル（別売り）

❏フェーダー端子用

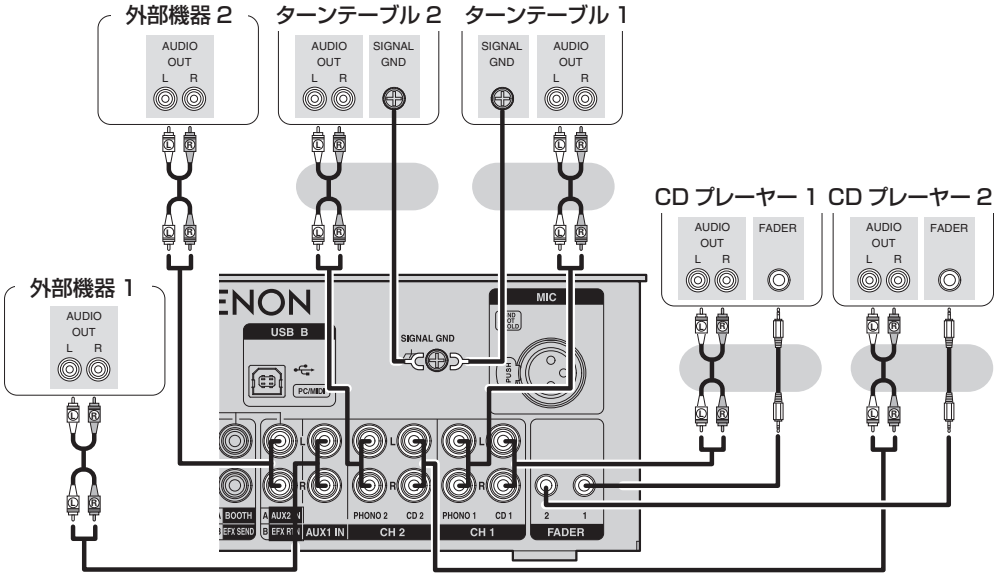
ステレオミニプラグケーブル（別売り）

❏USB 端子用

USB ケーブル（付属）

入力端子の接続

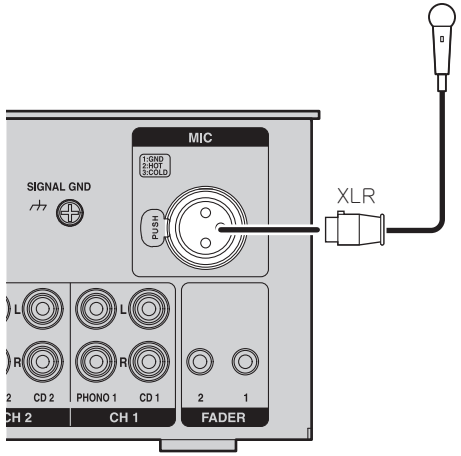
外部機器からの入力



ご注意

- AUX2/ エフェクト・リターン入力端子を、AUX2 入力端子としてお使いになるときは SELECT スイッチを“A”にしてください。
- 本機に DJ 用 CD プレーヤーを接続して、フェーダースタート機能をお使いになるときは、本機と CD プレーヤーの FADER 端子間の接続をしてください。

マイクの接続



XLR コネクターのバランス型のマイクロホンと接続します。
ピン配置：
1. グランド（GND）
2. ホット（HOT）
3. コールド（COLD）

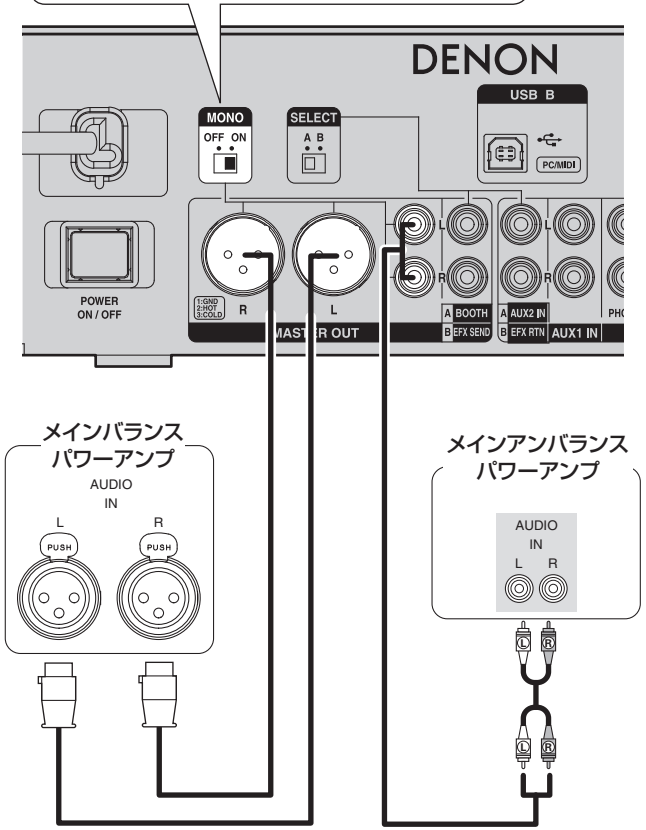
適応端子：
CANNON XLR-3-32 または同等品

出力端子の接続

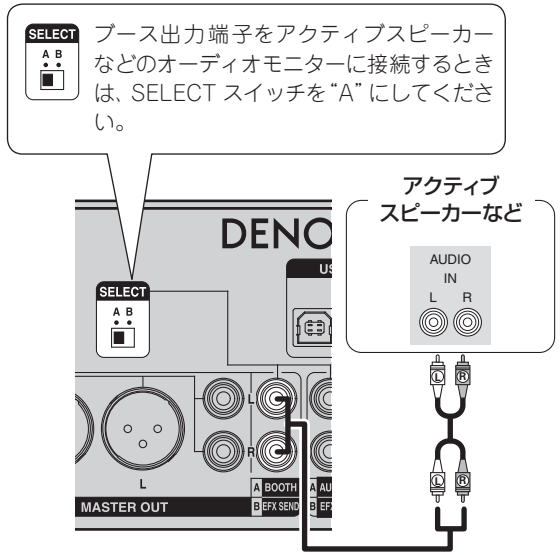
アンプへの出力

❑ **モノラルオーディオ出力に切り替えるには**

モノラル出力切替スイッチを“ON”にする。
- “OFF” にするとステレオ出力になります。

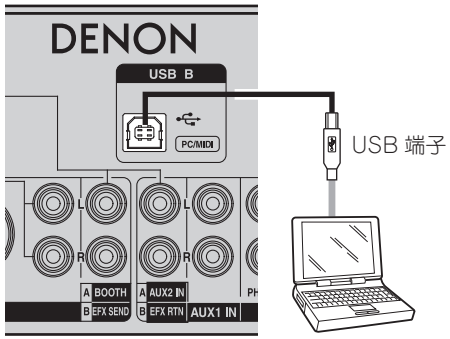


ブース出力端子の接続



入出力端子の接続

パソコンの接続



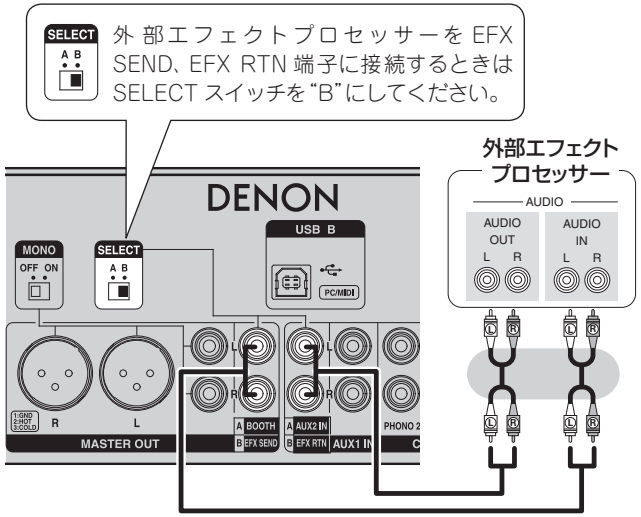
本機をパソコンに接続してお使いになる前に、「パソコンの OS の設定」(☞13 ページ) の設定をおこなってください。

❑本機と接続できるパソコンについて

- 本機の接続可能なパソコンの OS バージョン
  - Windows XP SP3 以降(32Bit のみ)
  - Windows Vista SP2 以降 (32、64Bit)
  - Windows 7(32、64Bit)
  - Mac OSX 10.6.4 以降

  この OS バージョン以外のパソコンは USB MIDI に対応していない場合があります。そのため本機と USB 接続後、パソコンが異常動作する場合があります。
- 本機は Mac OS 10.6.4 の動作確認をしています。Mac OS 10.6.3 以前でご使用になると、パソコンを本機に接続してお使いになっているときに、本機からの音声出力が不安定になる場合があります。また、本機は CoreAudio 標準のオーディオドライバで動作します。この標準のドライバで動作保証しているアプリケーションソフトウェアをご使用ください。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Computer Inc. の商標または登録商標です。

外部エフェクトプロセッサーの接続



ご注意

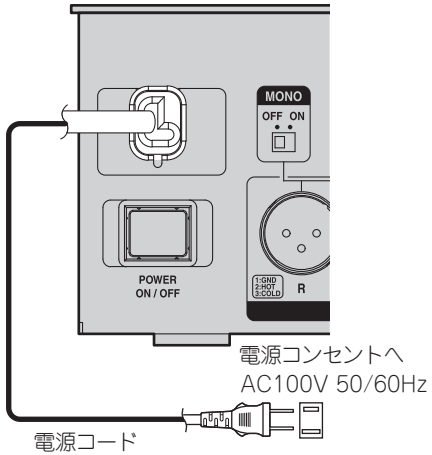
入力モード(SELECT)の各設定(A または B)では出力と入力の音声レベルが異なります。接続する機器に合わせて正しいレベルを設定してください。

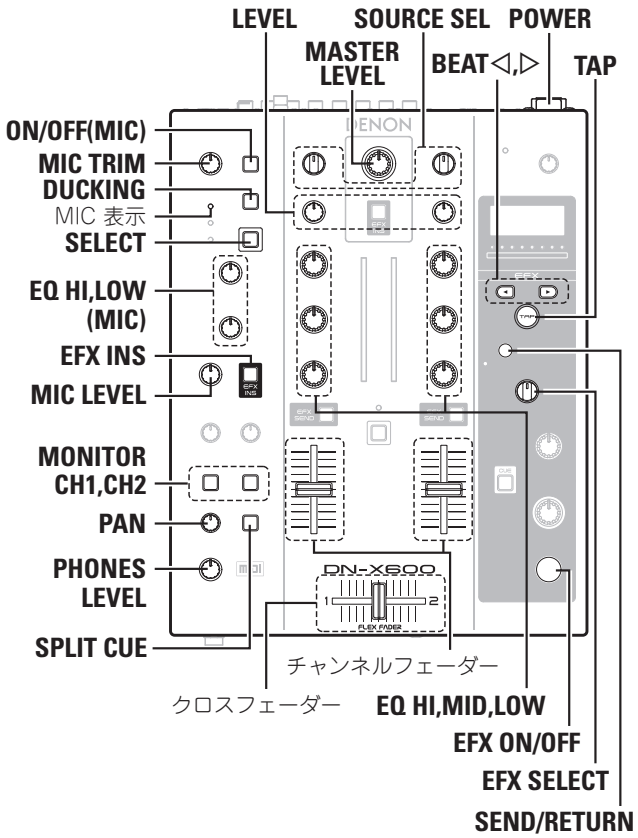
電源の接続

プラグをコンセントに差し込んでください。

ご注意

電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、故障または雑音発生の原因になります。





基本操作

1 **POWER を押す。**
本機の電源がオンになり、ディスプレイを表示します。

2 **SOURCE SEL で各チャンネルの入力ソースを選ぶ。**

3 **LEVEL で入力レベルを調節する。**
キューマスターレベルメーターに入力レベルを表示します。

4 **EQ HI、MID、LOW で音質を調節する。**

5 **チャンネルフェーダーとクロスフェーダーで音量を調節する。**

6 **MASTER LEVEL で出力レベルを調節する。**

MIC(マイクの入力)

1 **ON/OFF (MIC) を押す。**
- **ON/OFF (MIC)** が点灯します。
- MIC の入力が有効になります

2 **SELECT を押して MIC を選ぶ。**
MIC 表示が点灯します。

3 **MIC TRIM でマイク入力のレベルを調節する。**
歪みが無く適正な調節は、音声を入力したときに SIG/PK 表示が時々赤色が点灯しながら橙色が点灯する状態です。

4 **EQ HI、LOW でマイクの音質を調整する。**

5 **MIC LEVEL でマイクの出力レベルを調節する。**

❏マイク入力にエフェクトをかける

EFX INS (MIC/AUX1) を押す。

❏ダッキング機能を有効にする

ダッキング機能は、マイク入力を検出してマスター出力の音楽信号レベルを減衰する機能です。マイクを使用する場合に、マイクの音声が音楽に埋もれてしまうのを防ぎます。
DUCKING を押す。
- **DUCKING** が点灯します。

ヘッドホンモニター

ヘッドホンモニターの方法は 2 つあります。切り替えてお使いください。

1 **MONITOR CH1 または CH2 を押してモニターするソースを選ぶ。**
選択しているボタンが点灯します。

2 **SPLIT CUE を押してモニター方法を選ぶ。**
SPLIT CUE モード ←→ STEREO モード

SPLIT CUE モード
- **SPLIT CUE** が点灯します。
- ヘッドホンの左からは、手順 1 で選んだチャンネルの音声(CUE)を出力します。
- ヘッドホンの右からは、マスターの音声を出力します。
- 音声はモノラル音声です。

STEREO モード
- **SPLIT CUE** が消灯します。
- 手順 1 で選んだチャンネルの音声(CUE)とマスターの音声をステレオで出力します。

3 **PAN を回して CUE の音声とマスター音声のバランスを調節する。**

4 **PHONES LEVEL でヘッドホンの音量を調節する。**

ご注意
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

エフェクター機能

本機は、楽曲の BPM 値に同期して、設定した拍数に連動するエフェクタを搭載しています。また、複数のインプットチャンネルの信号を同時にエフェクタに送出できるエフェクトセンド構成を採用しており、多彩な音響効果を演出できます。

エフェクターの種類とエフェクト動作の内容

No	エフェクト名	エフェクト動作内容
1	Reverb	Beat 設定時間遅延のリバーブ信号を加算します。
2	Flanger	Beat 設定の LFO 周期で遅延時間を可変した信号を加算します。
3	Echo	Beat 設定時間遅延のエコー信号を加算します。
4	Delay	Beat 設定時間遅延した信号を加算します。
5	Loop	当社 DJ 機器の LOOP 機能と同様のループサンプラー処理します。
6	B.BREAKER (BeatBreaker)	拍のアタック音をビートパターンに応じて部分挿入処理します。
7	Filter	Beat 設定時間でフィルタカットオフを可変します。
8	B.SCRATCH (BeatScratch)	Beat 設定時間分通常再生し、同じ設定時間分逆再生するのを繰り返すことで、スクラッチを行いながら進んでいくような効果を出力します。

※正常なエフェクト効果を得るために、楽曲の拍数に合うように BPM 値を設定してください。

センド・リターン機能

本機は、本機に搭載しているエフェクターの他に、外部機器のエフェクトプロセッサーやパソコンを使ってエフェクト効果を得ることができます。

必要な設定と接続について

それぞれのエフェクターに必要な設定や接続は次の表のとおりです。

設定と接続						使用できるエフェクター		
SELECT スイッチの設定（リアパネル）			パソコンとの接続		SEND/RETURN 表示の点灯色	本機のエフェクター	外部のエフェクトプロセッサー	パソコンソフトのエフェクター
	入力	出力						
A	BOOTH	AUX2	なし	→	消灯（オフ）	—	—	—
B	EFX SEND	EFX RTN	あり	→	橙	✓		
B	EFX SEND	EFX RTN	なし	→	赤（薄）	✓		
B	EFX SEND	EFX RTN	—	→	赤	※ 1	✓	
A	BOOTH	AUX2	あり	→	緑（薄）	✓		
—	—	—	あり	→	緑	※ 1		✓

※ 1：本機のエフェクターは使用できません。

センド・リターン機能の切り替えかた

SEND/RETURN を押す。

オフ ←→ オン

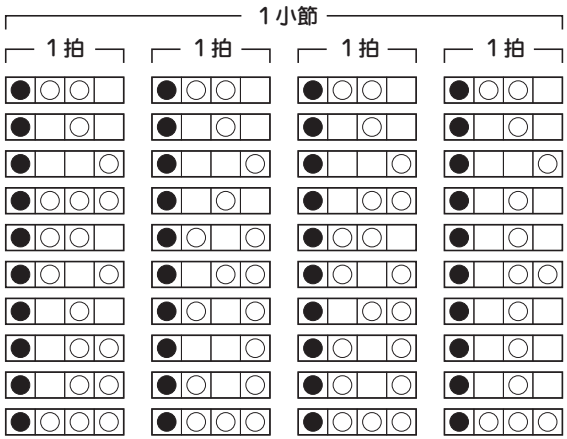
- SEND/RETURN モードに切り替わります。
- SEND/RETURN 表示の点灯色は、設定や接続の状態に応じて変わります。

ビートブレーカー機能

BeatBreaker は BPM 値から得られる 1 小節分の音楽信号を 1/4 拍ずつ 16 個に分解し、プリセットしたビートパターンに置き換えて再生することで、元々の楽曲のビートを変化させる効果を生むエフェクターです。

動作のしくみ

- ビートパターンは 16 個のブロックで構成しています。
- ビートパターンには次の 10 パターンがあります。
- **EFX ON/OFF** でオンにしたときの音声（下図の“●”）を、1 拍に渡って下図の“○”の位置で再生します。



操作のしかた

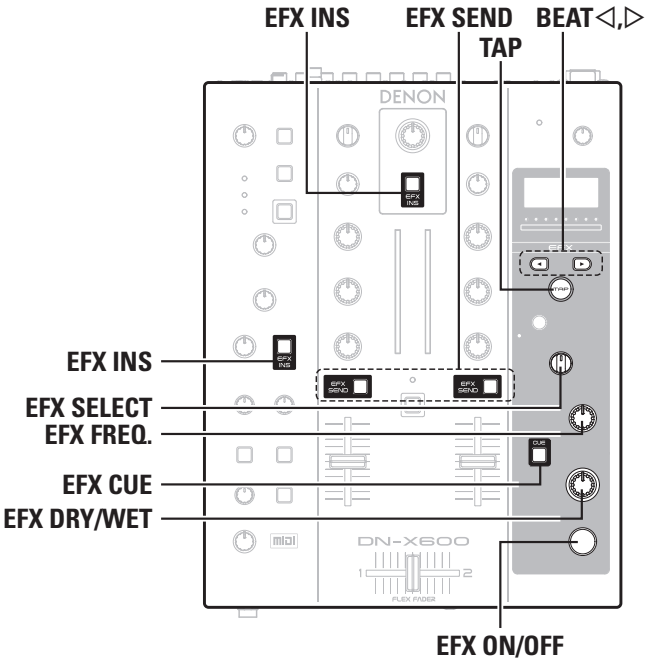
1 **EFX SELECT を“B.BREAKER”にする。**

2 **BEAT ◁、▷ でビートパターンを選ぶ。**

P1 ←→ P2 ←→ P3 ←→ P4 ←→ P5 ←
P10 ←→ P9 ←→ P8 ←→ P7 ←→ P6 ←

3 **EFX ON/OFF を押してエフェクトをオンにする。**

- **EFX ON/OFF** が点灯します。
- エフェクトがオンのときに **EFX ON/OFF** を押すと、エフェクトがオフになります。



エフェクターの操作のしかた

1 **エフェクターをかけるチャンネルの EFX SEND を押す。**

- 入力ソースの音声信号をエフェクターに送ります。
- マイク入力やマスター出力にエフェクターをかける場合は、**EFX INS** を押してください。

2 **BPM を設定する。**

BPM はエフェクターの基準になる値です。正常なエフェクト効果を得るために、楽曲の拍数に BPM 値を合わせてください。
BPM の値の設定のしかたは次の三通りの方法があります。

❑ オート BPM の設定のしかた

①**TAP** を 1 秒以上押す。
- ディスプレイに“Auto”を表示します。
- **TAP** が点灯します。

②**TAP** を押す。
- オート BPM で計測した値を表示してその値をロックします。
- **TAP** が消灯します。

❑ マニュアル BPM の設定のしかた

①**TAP** を 2 秒以上押す。
- ディスプレイの BPM 値が点滅します。

②**BEAT** を押して任意の BPM 値を設定します。
③**TAP** を押す。
- 設定を終了します。

❑ マニュアル BPM の設定のしかた

① 入力ソースのリズムに合わせて **TAP** を繰り返し押す。
- ボタンを押した間隔の BPM 値を設定します。

3 **EFX SELECT でエフェクターを選ぶ。**

4 **EFX ON/OFF を押してエフェクトをオンにする。**

- **EFX ON/OFF** が点灯します。
- エフェクトをオフにするにはもう一度 **EFX ON/OFF** を押す。

❑エフェクトの効果を調節するには

EFX FREQ を回す。

- フィルターのカットオフ周波数の調節や、エフェクトをかける周波数帯を調節します。
- SEND/RTN 中は動作しません。

❑エフェクト音声をモニターするには

EFX CUE を押す。

オフ ←→ オン

オンにすると、エフェクトオフ状態でもエフェクト音声をモニターできます。（ECHO、REVERB は除きます。）

❑オリジナル音声とエフェクト音声の割合を調節するには

EFX DRY WET を回す。

- DRY の方向に回すと、オリジナル音声の割合が多くなります。
- WET の方向に回すと、エフェクト音声の割合が多くなります。

ビートの設定

設定している BPM の値を基準に、ビートを調節します。
ビートは選んでいるエフェクターによって設定幅が異なります。

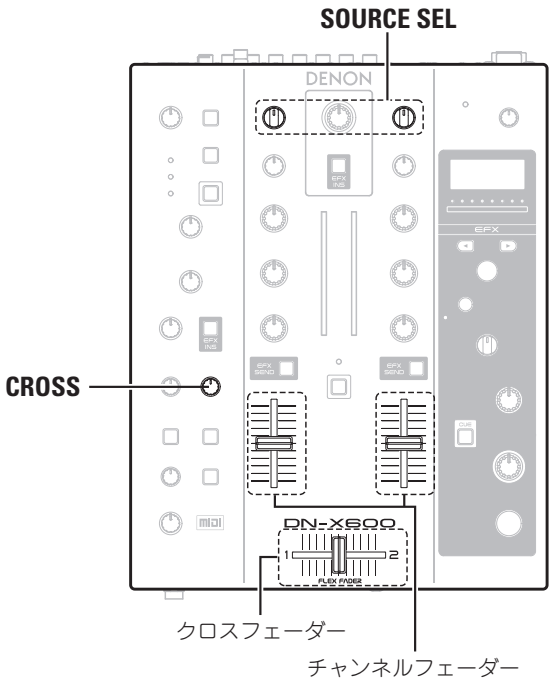
BEAT を押して設定するビート値を選ぶ。

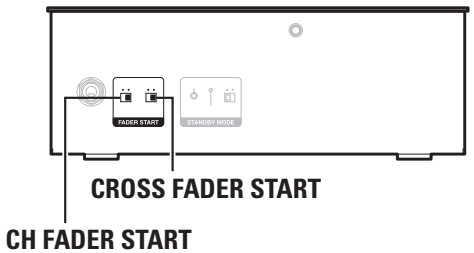
ビート表示が切り替わります。

【Selectable Range】

- REVERB/FLANGER/B・BREAKER/FILTER/B・SCRATCH のとき：
  1/4 - 32
- ECHO/DELAY/LOOP のとき：
  1/16 - 4

フェーダースタート機能





フェーダースタート機能とは CD プレーヤーへフェーダーコマンドを送信し、本機のフェーダー操作で CD プレーヤーの再生 / 停止を操作する機能です。
あらかじめ本機の FADER 端子と FADER 対応の DJ 用 CD プレーヤーを 3.5mm ステレオミニプラグのケーブルで接続してください。

チャンネルフェーダースタート

1 **CH FADER START を“ON”にする。**

2 **SOURCE SEL を入力する CD（“CD1” または “CD2”）に合わせる。**

3 **CD を入力するチャンネルのチャンネルフェーダーつまみを下いっぱいの位置にする。**
CD プレーヤーが CUE アップ状態になります。

4 **チャンネルフェーダーつまみを上に動かす。**
CD プレーヤーは再生を開始します。
その後、チャンネルフェーダーつまみを下いっぱいに動かすと CD プレーヤーは停止します。

クロスフェーダースタート

ここでは CH1 に接続している CD プレーヤーの再生を開始する方法を説明します。

1 **CROSS FADER START を“ON”にする。**

2 **CH1 の SOURCE SEL を“CD1”にする。**

3 **クロスフェーダーを“2”（CH2）の方向いっぱいの位置に合わせる。**

4 **CD プレーヤーを CUE アップ状態にする。**

5 **CROSS を“THRU”以外の位置にする。**

6 **クロスフェーダーを反対方向に動かす。**
CD プレーヤーは再生を開始します。

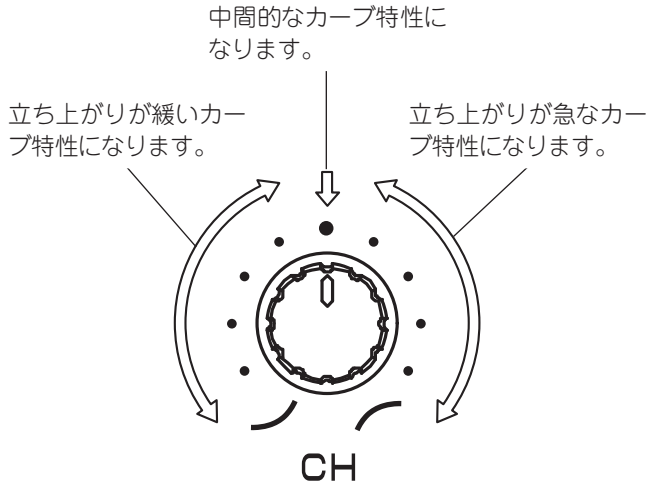
ご注意

CROSS を“THRU”の位置にすると、クロスフェーダースタート機能は動作しません。

フェーダーカーブの調節

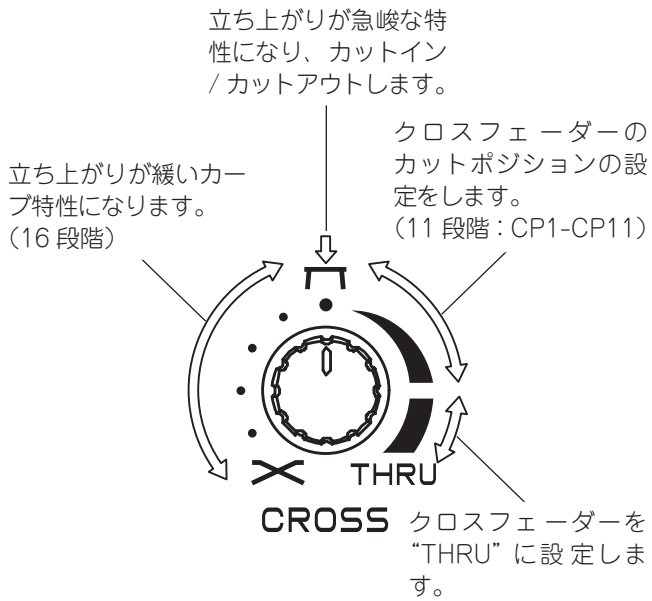
チャンネルフェーダー／クロスフェーダーの立ち上がりレスポンスを調節します。

❏ チャンネルフェーダーのカーブを調節する



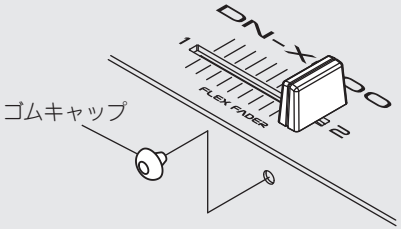
• CH1 と CH2 は同じカーブ特性になります。

❏ クロスフェーダーのカーブを調節する

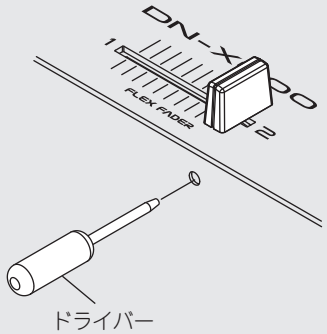


クロスフェーダートルクの調整方法

1 **前面パネルのゴムキャップをはずす。**



2 **クロスフェーダーを右端に移動し、ネジ頭が見える状態にする。**



3 **お手持ちのプラスドライバーで、摺動トルクを調整する。**

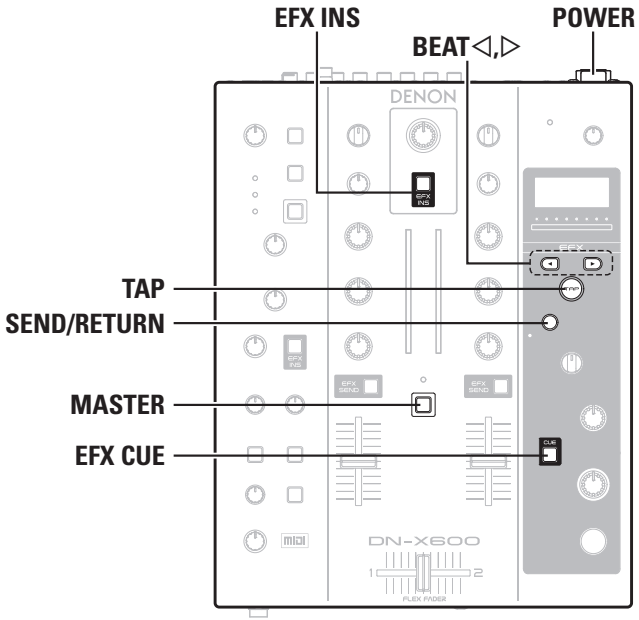
• 右に回す：摺動トルクが増えて動作が重くなります。
• 左に回す：摺動トルクが減り動作が軽くなります。

4 **調整終了後、前面パネルのゴムキャップを取り付ける。**

ご注意

クロスフェーダーは精密な構造の部品です。無理な締め付けやゆるめすぎる調整をすると、性能に影響をおよぼしたり壊れたりすることがあります。

USB 設定



パソコンの OS の設定

本機とパソコンを接続する前に、お使いになるパソコンの OS を本機に設定してください。

• お買い上げ時の設定は“PC”です。
• パソコンと接続中は設定できません。

1 **EFX CUE を押しながら BEAT ◁、▷ をを押す。**
OS 設定モードになります。

2 **BEAT ◁、▷ を押して OS を選ぶ。**
PC ←→ MAC
（Windows OS）　（Mac OS）

3 **TAP を押す。**
OS の設定が確定します。
• 設定をキャンセルするときは、**SEND/RETURN** を押します。

USB デバイスモードについて

USB デバイスモード（USB B 端子）は、次の機能に対応しています。
- USB オーディオインターフェース機能
- USB MIDI インターフェース機能

これらの機能により、パソコンに保存している音楽ファイルを本機で再生したり、本機で再生した音声をパソコンに保存したりすることができます。

USB オーディオの入出力

本機は、最大 8ch（ステレオ 4 系統）、24bit、96kHz の USB オーディオ入出力のサウンドカード機能を搭載しています。サンプリング周波数は、44.1k、48k、96kHz から選択できます。
- お買い上げ時の設定は 96kHz です。お使いのソフトが 96kHz に対応していないときは、次の操作でサンプリング周波数を切り替えてください。

サンプリング周波数の切り替えかた

1 電源がオフのときに、EFX INS を押しながら、POWER を押す。
電源がオンになり、サンプリング周波数モードになります。

2 BEAT ◁ または ▷ を押して設定したいサンプリング周波数を表示する。

44.1kHz ↔ 48kHz ↔ 96kHz

3 TAP を押す。
- 表示しているサンプリング周波数を選択します。

4 POWER を押してオフにしたあと、再び POWER を押してオンにする。
- 本機を再起動すると、サンプリング周波数の設定が確定します。

ご注意
- Ver1 のドライバを既にインストールしている場合は、Ver1 をアンインストール後に、Ver2 のドライバをインストールしてください。
- 使用するパソコンに応じて、パソコンの OS を設定してください。（☞13 ページ「パソコンの OS の設定」）

USB オーディオ出力について

4 系統のステレオ USB オーディオ出力からは常に次の信号を出力します。パソコン側にてそれぞれの信号を選んでください。
- USB 1/2……CH1 または DVS CH1
- USB 3/4……CH2 または DVS CH2
- USB 5/6……MIC または USB EFX SEND
- USB 7/8……REC

USB オーディオ入力モードの設定

USB オーディオ信号の入力モードには、ミキシング処理のしかたが異なる 2 つのモードがあります。用途に応じて設定してください。
- お買い上げ時のモードは“CH INPUT モード”です。

1 MASTER を押しながら BEAT ◁、▷ を押す。
USB オーディオ設定モードになります。

2 BEAT ◁、▷ を押して USB オーディオモードを選ぶ。

CH ←→ MAS

CH INPUT モード　　MASTER モード

CH INPUT モード

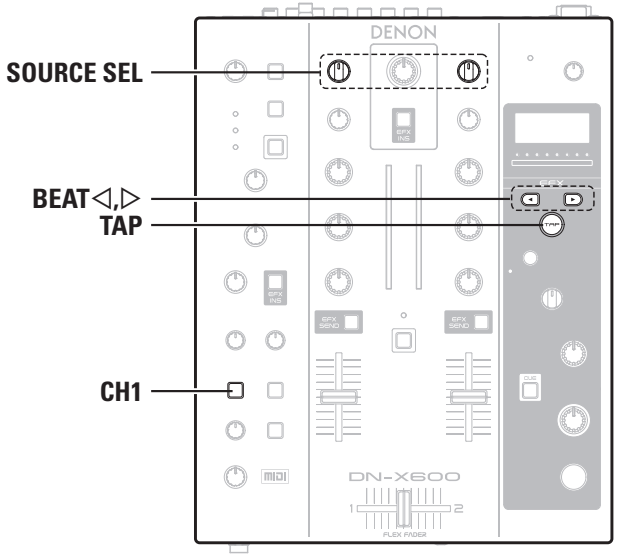
チャンネルに入力しているソースをミキシングします。お使いの DJ ソフトウェアのミキサー機能を使わない場合は、このモードにしてください。
- USB 1/2 チャンネル入力 → インプットチャンネル 1
- USB 3/4 チャンネル入力 → インプットチャンネル 2
- USB 5/6 チャンネル入力 → USB EFX RTN
- USB 7/8 チャンネル入力 → マスターバス

MASTER モード

DJ ソフトウェアのミキサー出力を、DN-X600 で内部バスミックスします。
DJ ソフトウェアのミキサー機能と、DN-X600 を併用してミキシングをおこないます。
各 USB オーディオ入力信号を、以下のバスにアサインします。
- USB 1/2 チャンネル入力 → マスターバス
- USB 3/4 チャンネル入力 → CUE モニターバス
- USB 5/6 チャンネル入力 → USB EFX RTN
- USB 7/8 チャンネル入力 → マスターバス

3 TAP を押す。
USB オーディオモードの設定が確定します。
- 設定をキャンセルするときは、SEND/RETURN を押します。

4 DJ ソフトウェアのオーディオ出力の設定を、USB オーディオ入力モードの設定に合わせる。
- 設定のしかたは DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。



MIDI コマンドの出力について

本機は、USB MIDI 出力に対応しています。
ほぼ全ての操作子の MIDI コントロール機能と、MIDI クロックに対応しています。

MIDI 出力チャンネルの設定

- お買い上げ時の設定は“CH1”です。

1 **CH1 を押しながら BEAT ◁、▷ を押す。**
チャンネル設定モードになります。

2 **BEAT ◁、▷ を押して、出力する MIDI チャンネルを選ぶ。**
→ CH1 ←→ CH2 ←→ CH3 ←→ ····· ←→ CH16 ←
- 設定をキャンセルするときは、**SEND/RETURN** を押してください。

3 **TAP を押す。**
MIDI 出力チャンネルが確定します。

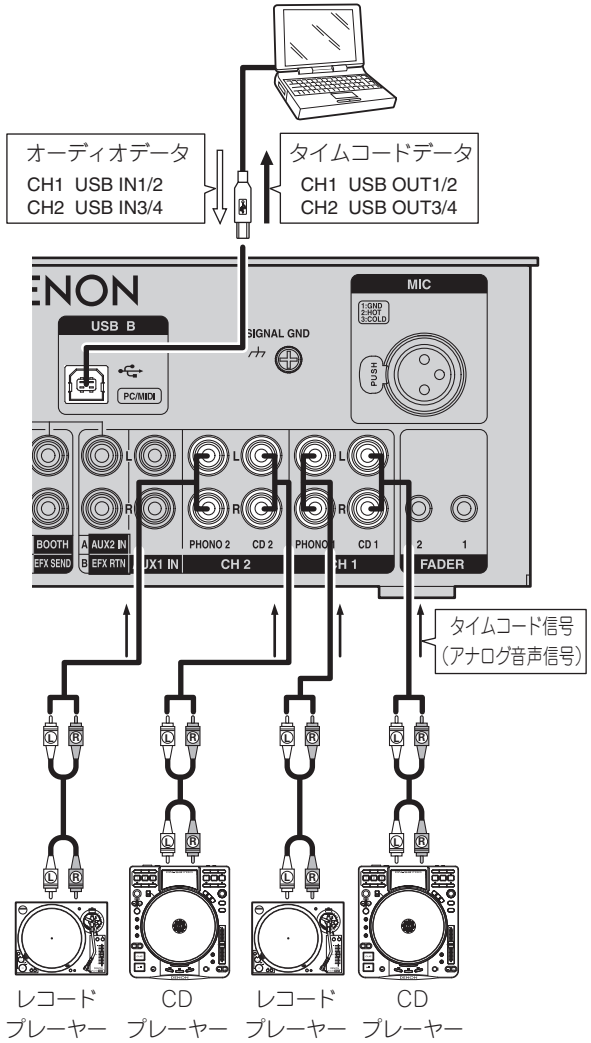
MIDI クロックの同期について

AUTO BPM モードのときに MIDI クロック信号を入力すると、本機は自動的に入力している BPM に切り替えて動作します。

DVS 機能を使った再生のしかた

DVS(Digital Vinyl System) 機能とは、レコードプレーヤーや CD プレーヤーの操作で、パソコンに保存している MP3 や WAV などの音楽ファイルの再生操作をおこなう機能です。
この機能を使うと、プレーヤーの良好な操作性でパソコンの音楽ファイルを再生することができます。
DVS 機能には次の機器類をご用意ください。
- DVS ソフトウェアがインストールされたパソコン
- DVS ソフトウェアに付属のタイムコードディスク
- CD プレーヤーまたはレコードプレーヤー

接続のしかた



DVS 再生のしかた

あらかじめ、DVS ソフトウェアの設定をおこなってください。
- 設定のしかたは DVS ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 **使用するチャンネルの SOURCE SEL を“DVS”にする。**
- パソコンに出力する入力ソースの選択モードになります。
  - CH1 入力：“1C”または“1P”を表示します。
  - CH2 入力：“2C”または“2P”を表示します。
  （“C”は CD の入力、“P”は PHONO の入力を表します。）
- 各チャンネルの“C”と“P”の切り替えかた。
  - CH1 の変更：**BEAT◁** を押す。
  - CH2 の変更：**BEAT▷** を押す。

2 **TAP を押す。**
各チャンネルの入力ソースが確定します。

3 **パソコンの DVS ソフトウェアを立ち上げ、再生のための準備をおこなう。**

4 **使用するチャンネルに接続しているレコードプレーヤーまたは CD プレーヤーでタイムコードディスクを再生する。**
- 本機は入力したタイムコード信号をパソコンに出力します。
- パソコンはタイムコード信号を受け、再生を始めます。
- 再生中の操作のしかたについては、DVS ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

5 **接続したチャンネルの音量などを調節する。**

❏MIDI コマンドリスト

送信コマンド

	items	MIDI command			Message type	Notes
		Command	Number	Value		
CH1	EQ HIGH VR	0xBn	0x02	0x00 to 0x7F	Control Change	0-127
	EQ MID VR	0xBn	0x03	0x00 to 0x7F	↑	↑
	EQ LOW VR	0xBn	0x04	0x00 to 0x7F	↑	↑
	FADER	0xBn	0x05	0x00 to 0x7F	↑	↑
	EFFECT SEND	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x01	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	Note ON/OFF	
	CUE	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x03	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
CH2	EQ HIGH VR	0xBn	0x08	0x00 to 0x7F	Control Change	0-127
	EQ MID VR	0xBn	0x09	0x00 to 0x7F	↑	↑
	EQ LOW VR	0xBn	0x0A	0x00 to 0x7F	↑	↑
	FADER	0xBn	0x0B	0x00 to 0x7F	↑	↑
	EFFECT SEND	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x05	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	Note ON/OFF	
	CUE	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x07	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
CROSS FADER	CROSS FADER	0xBn	0x16	0x00 to 0x7F	Control Change	0-127
MASTER	MASTER LEVEL VR	0xBn	0x19	0x00 to 0x7F	↑	↑
	BOOTH LEVEL VR	0xBn	0x1B	0x00 to 0x7F	↑	↑
	EFFECT INSERT	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x11	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	Note ON/OFF	
EFFECT	BEAT UP	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x16	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	BEAT DOWN	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x17	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	TAP	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x18	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	SEND/RETURN	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x19	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	CUE	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x1A	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	EFFECT ON/OFF	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x1D	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	PARAMETER VR	0xBn	0x1C	0x00 to 0x7F	↑	0-127
	DRY/WET VR	0xBn	0x1D	0x00 to 0x7F	↑	↑
MIC/PHONES	MIC EQ HIGH VR	0xBn	0x21	0x00 to 0x7F	Control Change	↑
	MIC EQ LOW VR	0xBn	0x22	0x00 to 0x7F	↑	↑
	MIC SEND LEVEL VR	0xBn	0x23	0x00 to 0x7F	↑	↑
	MIC TRIM ON/OFF	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x26	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	Note ON/OFF	
	MIC EFFECT INSERT	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x28	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	
	DUCKING	SW ON ：0x9n／SW OFF : 0x8n	0x2A	SW ON ：0x40／SW OFF : 0x00	↑	

※ “Command”の“n”は MIDI チャンネル番号(n=0～F)をあらわします。

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか

❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

❏ 外部機器（プレーヤーやエフェクトプロセッサー）は正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

- ご連絡の際は、ソフトウェアのバージョン番号も合わせてご連絡ください。ソフトウェアのバージョン番号は、**SPLIT CUE** ボタンと **BEAT** ボタンを同時に押すとディスプレイに表示します

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	8
電源スイッチはオンになっているが、電源がオフになっている。	• スタンバイモードになっています。**RESTART** ボタンを押してください。	4
音が出ない。または小さい。	• すべての機器の接続を確認してください。 • ソースセレクトスイッチを再生中の機器側に切り替えてください。 • マイクのダッキング機 能が働いています。**DUCKING** スイッチを“OFF”に設定してください。	6～8 9 9
音が歪む。	• マスター出力調節つまみを調節してください。 • 入力レベル調節つまみを調節してください。	9 9
CD プレーヤーのフェーダースタートができない。	• ステレオミニ端子を使用して、本機と CD プレーヤを接続してください。 • フェーダースタートスイッチを“ON”に設定してください。	6 12
本機が正常に動作しない、または音が出ない。	• すべての機器の接続を確認してください。 • 音源、オーディオ機器、アプリケーション、OS などの音量設定が正しく調節されているか確認してください。	6～8 9、14
本機が正常に動作しない、または音が出ない。	• 適切なデバイスを選択してください。 • 本体の設定とアプリケーションの設定を合わせてください。 • サンプリング周波数やビット数の異なるウェーブファイルが混在しています。お使いのオーディオアプリケーションによっては、サンプリング周波数やビット数の異なるウェーブファイルを同時には再生できない場合があります。 • 他の USB 機器を接続している場合は、本機だけを接続して問題がないか確認してください。 • 付属の USB ケーブルを使用してください。また、接続しているパソコンの USB コネクターが USB2.0（Hi-Speed）に対応しているか確認してください。	– 14 – – 8
音が途切れる、または歪む。	• 不要なアプリケーションは終了してください。 • 複数のウェーブファイルを同時に再生すると、お使いのパソコンの能力によっては、再生音が途切れたりすることがあります。1 つのウェーブファイルを再生してみてください。	– –

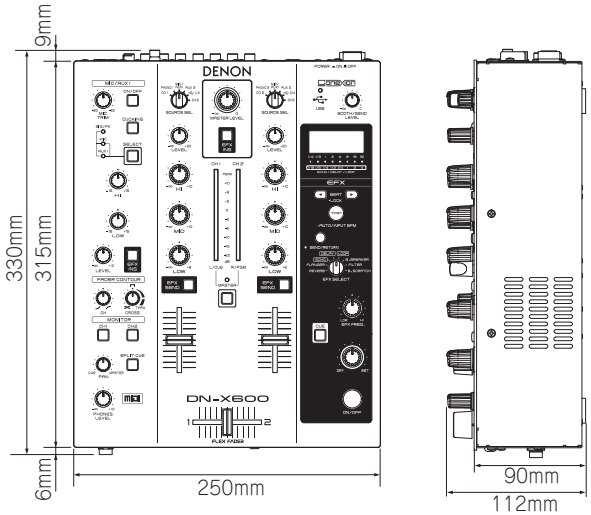
主な仕様

❏ オーディオ部

• PHONO 入力	(0dBu=0.775Vrms, 0dBV =1Vrms)
入力インピーダンス：	2 ステレオ アンバランス RCA 端子 47k Ω
レベル：	− 40dBV(10mV)
S/N 比：	89dB
• CD 入力	2 ステレオ アンバランス RCA 端子
入力インピーダンス：	10k Ω
レベル：	0dBV
S/N 比：	100dB
• イコライザー(LINE)	3 バンド
チャンネル EQ 調節範囲：	HI(高域)：−∞ , − 90dB〜+ 10dB MID(中域)：−∞ , − 90dB〜+ 10dB LOW (低域)：−∞ , − 90dB 〜+ 6dB
• AUX1 入力	1 ステレオ RCA 端子
入力インピーダンス：	10k Ω
レベル：	0dBV
• EFX RETURN AUX2 入力	1 ステレオ RCA 端子
入力インピーダンス：	10k Ω
レベル：	AUX2：0dBV EFX RETURN：− 10dBV
• MIC 入力	モノラル
MIC：	バランス XLR (1:グランド、2:ホット、3:コールド)
入力インピーダンス：	5k Ω
レベル：	− 60〜− 20dBu
EIN：	− 126dBu 以下 (Rs = 150 Ω)
CMRR：	89dB 以上(1kHz)
• イコライザー(MIC/AUX1)	2 バンド
調節範囲：	HI(高域)：− 15〜+ 15dB LOW(低域)：− 15〜+ 15dB
• USB オーディオ入力	4 ステレオ(8 モノラル) 24bit, Fs：44.1k/48K/96kHz USB B
• MASTER 出力バランス：	ステレオ、バランス XLR 端子 (1：グランド、2：ホット、3：コールド)
DA コンバータ：	32bit 128 倍オーバーサンプリングアドバンスドセグメント
負荷インピーダンス：	600 Ω以上
レベル：	+ 4dBu(最大 +24dBu)
周波数特性：	20Hz〜20kHz(± 0.5dB)
THD：	0.05% 以下
クロストーク：	− 100dB 以下(1kHz)
アンバランス：	ステレオ RCA 端子
負荷インピーダンス：	10k Ω
レベル：	0dBu(最大 +20dBu)
• EFX SEND/BOOTH 出力	ステレオ RCA 端子
負荷インピーダンス：	10k Ω以上
レベル：	BOOTH：0dBu(最大 +20dBu) EFX SEND：− 10dBV (最大 +10dBV)
• ヘッドホン出力	ステレオ
負荷インピーダンス：	40 Ω
レベル：	100 m W
• USB オーディオ出力	4 ステレオ(8 モノラル) 24bit, 44.1/48/96kHz USB B

❏ 総合

USB MIDI I/O：	IN：1ch, OUT：1ch MIDI1.0, MIDI Clock USB B
CH メーター：	PPM 10 ポイント LED -20 〜 +10dB, Peak
MASTER メーター：	PPM 10 ポイント LED -20 〜 +10dB, Peak
CH フェーダー：	45mm Slim Type fader
Cross フェーダー：	45mm FLEX Fader (Fader Torque Adjustable)
外形寸法：	250(幅) × 315(奥行き) × 90(高さ)mm
質量：	4.0kg
電源電圧：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	24W (スタンバイ時 0.3W 以下)
動作温度：	+ 5℃〜+ 35℃
動作湿度：	25%〜85%
保存温度：	− 20℃〜+ 60℃



※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

保証と修理について

❏保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については弊社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 弊社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容
- ソフトウェアのバージョン番号

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

索引

☞ 英数

DVS…… 15
MIDI コマンド…… 15、16
USB オーディオ …… 14
USB 設定…… 13
USB デバイスモード…… 14

☞ あ

エフェクター…… 10、11

☞ か

クロスフェーダー …… 12、13
ケーブル ……6
RCA ピンプラグケーブル……6
USB ケーブル……6
ステレオミニプラグケーブル ……6
バランスケーブル……6

☞ さ

サンプリング周波数の切り替え…… 14
自動スタンバイ機能 ……4
接続 ……6
アクティブスピーカー ……7
外部エフェクトプロセッサー……8
電源コード ……8
パソコン……8
マイク ……7
メインアンバランスパワーアンプ ……7
メインバランスパワーアンプ……7
センド・リターン機能 …… 10

☞ た

ダッキング ……9
チャンネルフェーダー…… 12、13
電源オン / オフ（スタンバイ）……9
トップパネル……3

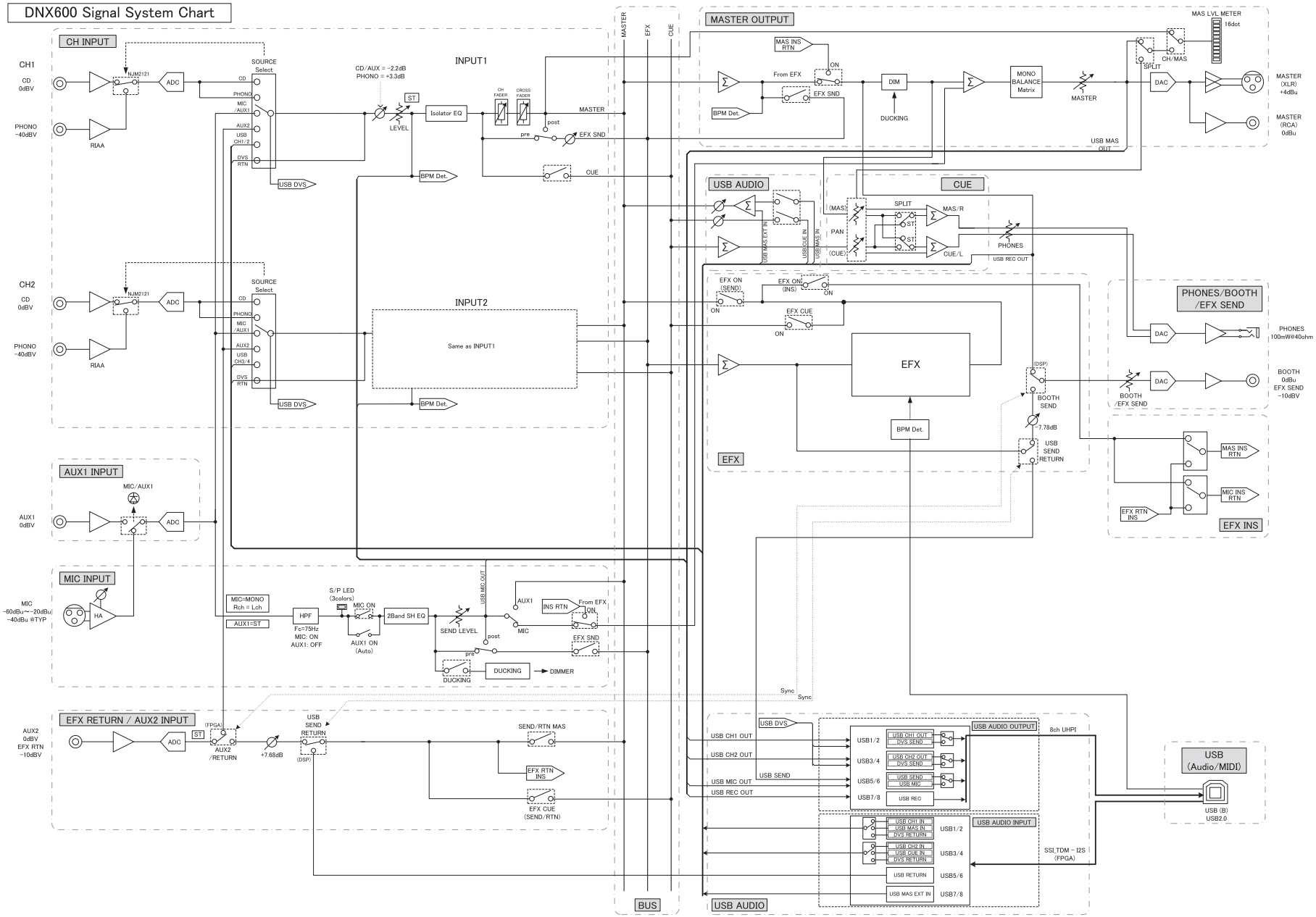
☞ は

ビート …… 11
ビートパターン …… 10
ビートブレーカー …… 10
フェーダースタート …… 12
フロントパネル……4
ヘッドホンモニター……9

☞ ら

リアパネル ……5

系統図


DNX600 Signal System Chart
CH INPUT
CH1
CD 0dBV
PHONO -40dBV
RIAA
NJM2121
ADC
SOURCE Select
CD
PHONO
MIC /AUX1
AUX2
USB CH1/2
DVS RTN
USB DVS
CD/AUX = -2.2dB
PHONO = +3.3dB
ST
LEVEL
Isolator EQ
INPUT1
CH FADER
CROSS FADER
MASTER
post
pre
EFX SND
CUE
BPM Det.
CH2
CD 0dBV
PHONO -40dBV
USB CH3/4
INPUT2
Same as INPUT1
AUX1 INPUT
MIC/AUX1
AUX1 0dBV
MIC INPUT
MIC -60dBu~-20dBu -40dBu #TYP
HA
MIC=MONO Rch = Lch
AUX1=ST
HPF
Fc=75Hz MIC. ON AUX1. OFF
S/P LED (3colors)
MIC ON
AUX1 ON (Auto)
2Band SH EQ
USB MIC OUT
SEND LEVEL
AUX1
MIC
INS RTN
From EFX
ON
EFX SND
DUCKING
DIMMER
EFX RETURN / AUX2 INPUT
AUX2 0dBV EFX RTN -10dBV
(FPGA)
AUX2 /RETURN
+7.88dB
USB SEND RETURN
(DSP)
SEND/RTN MAS
EFX RTN INS
EFX CUE (SEND/RTN)
MASTER
EFX
CUE
BUS
MASTER OUTPUT
MAS INS RTN
From EFX
EFX SND
BPM Det.
DIM
DUCKING
MONO BALANCE Matrix
MASTER
MAS LVL METER
16dot
SPLIT
CH/MAS
DAC
MASTER (XLR) +4dBu
MASTER (RCA) 0dBu
USB MAS OUT
USB AUDIO
USB MAS EXT IN
USB CUE IN
USB MAS IN
(MAS)
PAN
(CUE)
SPLIT
MAS/R
CUE/L
PHONES
USB REC OUT
EFX ON (SEND)
EFX ON (INS)
EFX CUE
EFX
BPM Det.
BOOTH SEND
-7.78dB
USB SEND RETURN
PHONES/BOOTH /EFX SEND
PHONES 100mW@40ohm
BOOTH 0dBu EFX SEND -10dBV
BOOTH /EFX SEND
MAS INS RTN
MIC INS RTN
EFX RTN INS
EFX INS
Sync
USB DVS
USB CH1 OUT
USB CH2 OUT
USB SEND
USB MIC OUT
USB REC OUT
USB1/2
USB3/4
USB5/6
USB7/8
USB CH1 OUT
DVS SEND
USB CH2 OUT
DVS SEND
USB SEND
USB MIC
USB REC
USB AUDIO OUTPUT
8ch UHPI
USB CH1 IN
USB MAS IN
DVS RETURN
USB CH2 IN
USB CUE IN
DVS RETURN
USB RETURN
USB MAS EXT IN
USB AUDIO INPUT
SSI_TDM ~ I2S (FPGA)
USB (Audio/MIDI)
USB (B) USB2.0
USB AUDIO

D&M Holdings Inc.